



津幡町立津幡中学校

Tsuruhama Junior High School

学校だより

さわやか

令和7年12月1日 <12月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535



「自律的に行動する力を高める12月へ」

—冬休みまでに大切にしたいこと

校長 池島 隆久

12月を迎えました。11月は、インフルエンザや風邪の流行による学級閉鎖・学年閉鎖もありましたが、生徒の皆さんには、期末テストに向けて、よく頑張りました。いよいよ2学期を締めくくる大切な時期です。

学習の「まとめ」を確実に

学習面では、期末テストの結果を振り返り、自分の理解度や課題を明確にしてください。「わからないことをそのままにしないこと」が、次の学びを高める第一歩です。

授業では、仲間と協力しながら深い学びをつくる姿勢を継続していきましょう。「仲間と学ぶ」ことは、自分の理解を深めるだけでなく、互いを成長させる力になります。

求めるのは「けじめ」

生活面では、テスト明けから冬休みまでの過ごし方が重要です。学期末は疲れや気のゆるみが出やすいので、「けじめ」を意識し、しっかり締めくくりましょう。この時期に「けじめ」が求められる理由を二つ挙げます。一つ目は、「気のゆるみは学習や生活に影響する」です。

テストが終わるとほっとして、授業への集中力の低下、遅刻や忘れ物、不注意によるトラブルにつながることがあります。二つ目は「よい締めくくりが新しい学期のよいスタートにつながる」です。12月の姿勢は冬休みの過ごし方、さらには3学期の開始にも影響します。「終わり方がよい人は、始まり方もよい」ということです。

「けじめ」=「自律的に行動する力」—未来を切り開く力を育てる

「けじめ」を大切にする姿勢は、自分の未来を切り開く力につながります。「けじめ」とは、やるべき時にやるべきことに向き合い、自分で決めたことをやり抜き、責任を果たそうとする自律的な姿勢です。

本校の教育目標「未来を切り開く力」は、こうした行動の積み重ねで育まれていきます。

校訓「自治」に立ち返る

未来を切り開く指針が、校訓「自治・協力・責任」です。「自治」とは、「自分たちのことを、自分たちで考え、決め、実行すること」です。生徒会、部活動、地域のクラブ活動は、「自治」を学ぶ絶好の場です。行事や大会が一区切りついた今、「自分たちの活動をよりよくするために何ができるか。自分はどのようにチームに関わっていくか」という問い合わせを仲間と共有してください。この姿勢こそ、未来を切り開く力の土台になります。

今の努力が、未来をつくる

12月は疲れやゆるみが出やすい一方、「けじめ」を意識し自律性を高める絶好の1か月です。「なぜそれをやるのか」「どうすればもっとよくなるか」と考えながら行動してみてください。「まとめ」と「けじめ」を意識して、充実した12月をつくっていきましょう。

未来は、誰かがつくってくれるものではありません。自ら考え、判断し、行動した先に開



12月の過ごし方

- ・期末テストを振り返り、「わからない」をそのままにせず学習のまとめを行う
- ・気のゆるみが出やすいので、生活に「けじめ」を持つ
- ・良い締めくくりをして、次の学期の良いスタートにつなげる
- ・「けじめ」とは自律的に行動する力であり、「未来を切り開く力」につなが

